



まちみらい
チャレンジ
2021
Minamiechizen

活動報告書

関係人口の関係人口は関係人口になるのか

吉原 詩織

■活動内容

【目的】

「南越前町の関係人口(著者)が、南越前町に新たな関係人口を作ることができるのか」実験を試みる中で、関係人口になる過程を体系的にまとめ、関係人口の可能性を探る。

【実施内容】

①南越前町に人を呼び込む

南越前町での滞在経験や地域の魅力を、自分と関係の遠い人から順に話し、興味を持つ人を探した。結果として親しい関係の**大学生が来町し、地域の人と交流**を持つことができた。

②まちみらいチャレンジ2020、2021年度参加者へアンケート調査

回答者の87.4%が自身を関係人口だと認識し、貴重な体験や地元の人に魅力を感じて、100%の人が人を連れてきたいと思っていること、また、**62.5%が実際に南越前町に人を連れてきたこと**、関係人口が関係人口を作ることが可能なことなどが分かった。

③卒論作成

まちみらいチャレンジ参加者が関係人口になる過程を体系的にまとめた。また、**参加大学生は「まちみらいチャレンジ」の事業自体に意識**が向いており、事業と参加者のポジティブな感情や行動に関連があることが分かった。行政は「まちみらいチャレンジ」に参加する中で**派生する大学生と地域との関係性を重要視**しており、**地域と学生双方に対しての視点が同時に発現**していることが分かった。また、5つの考察がなされた。①参加学生は「地域支援を志向する外部者」として関係人口になった②「集団を超えて個人でつながる」関係性の成功事例になった③大学生と地域を絡めた事業では「受け入れる側の気持ち」が重要④大学を通さず個人の方が活動しやすい⑤行政と大学生の関わり方は途中段階にある。

■町との関わり

【来町期間】2020年12月17、28日【活動拠点】Daisan

【来訪場所】玉村屋、農地、北前船主の館右近家、道の駅南えちぜん山海里、花はす温泉そまやま、役場、ソースカツ丼のお店、ORIONBAKE、GENOME など

【ヒアリング対象者】「メンター」の学生、行政担当者

【アンケート対象者】2020、2021年の参加者16名

【地域で関わった方】農家の方、近所にお住まいの方、地域おこし協力隊、温泉の中でお話しした方、参加学生など

【町との関わり】観光、地域の方とご飯会、近所の方のお家訪問(&つるし柿の工場の見学)、雪かき など《帰宅後》Daisanへ**特産品送る、つるし柿の会社の方のTV出演楽しみにする**など、連れてきた人の中にも南越前町での体験が日常に残った。

■情報発信・共有

●他大学交流(15人)、後輩(8人)、同級生(5人)に口頭で2020年の活動を話す。→1人が実際に来町

●口頭試問、卒論報告会で発表。→利他的利己(互いにwin-win)になっている良い事例。また地域のキーパーソンを見つけてコミュニティの形成が聞けるとより深みが出たという講評。

■成果

活動を通して気付いた点、自分自身の思い：南越前町で出会った人から様々な「生き方」を学び、自分を見つめ直す機会をもらい、就活の軸も決まった。感謝の気持ちがとても大きい。今後の新社会人生活で壁にぶつかったときには、この経験を思い出してほしい。

今後の町との関わり方：事業の参加者というよりも、第三の故郷としてもっとゆるくつながっていきたい。

「うさこちゃんのかわいい図鑑」

清水 のどか

■活動内容

①「うさこちゃんのかわいい図鑑」とは

農作業のお手伝いや、南越前町で過ごした時間の中で、「かわいい！」と感じた野菜、虫たちを「どこがかわいいのか」語るという、手書きのフリーペーパーを作成しました。作成したものは、南越前町のお店、役場、岐阜市の柳ヶ瀬商店街のお店に置かせていただきました。

このフリーペーパーを作った理由としては、「捉え方が変われば、自分の生活の見え方も変わる」ということを自分なりに示したかったからです。南越前町での経験で、自分の捉え方も変わりました。その気持ちを、私が生活を楽しむ上で大切にしている「かわいい」という言葉を使って、このタイトルにしました。

当初は、「うさこちゃんにつき」という自分の日記を書くことを考えていましたが、南越前町で過ごす時間の中で考えた空想と、それを面白がってくれる人に出会えたおかげで、自分の好きなように示したくなり、この形にしました。

②インタビュー（仮題 南越前町クエスト）

南越前町内のお店の方、NPO法人の方にインタビューを行いました。同じまちみらいチャレンジの参加者の都築さんと合同で活動しました。

■町との関わり

元地域おこし協力隊の宇野さんが運営する「Daisan」に滞在（古木地区）

地域おこし協力隊の田上さんのお宅に滞在（河野地区）

活動期間中、月に一度ほどの訪問で、計24日間

インタビューに協力していただいた方

ROSSO、ORIONBAKE、玉村屋、今庄旅籠塾（敬称略）

農作業のお手伝いで、古木地区の農家さん

■情報発信・共有

「うさこちゃんのかわいい図鑑」の配本を通しての交流（南越前町…ROSSO、ORIONBAKE、玉村屋、六助）（岐阜市…やながせ図工室、喫茶星時、やながせ倉庫）全部で70部ほど作成しました。紙が減っていることや、もらってきたよという報告が嬉しかったです。これをきっかけに南越前町の話をして、私が楽しそうなのがうれしいと言っていて、周囲の人の温かさを感じました。

■成果（変化）

私はまちみらいチャレンジに参加し、南越前町で時間を過ごして、とてもよかったです。この活動を通して、新しい人や自然と関わって、人や物事との向き合い方が少しずつ変わりました。

例えば、私は最初滞在した時にカメムシを見て、びっくりしていたのですが、「ペットみたいなもんや」（！？）という話を聞いたり、あまりにもどこにでもいるので、それが当たり前になったりするうちに、だんだんかわいく思えてきました。

小さなことですが、衣食住を変えることで、そういった自分の中の感覚の変化や、たくさんの学びが得られ、また新しい遊び方を知りました。

もっとそうしたことを知りたいので、学び、遊びにいきたいです。南越前町に三か月ほど住みたいと考えています。うさこちゃんではなく、「私が」住むうえでどうしたいか、なにがしたいか、話していけるようにいろんな人と関わって向き合っていきたいと思います。

「これでいいんだ」と、「もっとこうしたい」と思うことをたくさん受け取ったので、その気持ちを忘れず、一歩ずつやっていきたいです。

■活動に関する写真等



「うさこちゃんのかわいい図鑑」

実際の活動の様子



お気に入りの野菜写真

生活の難しさを知る



発見！南越前町の隠れた観光地

都築大輔

■活動内容

①概要と目的

南越前町にあるそこまでメジャーではないスポットに焦点をあてて紹介することを目的として活動を行った。昨年の報告書を見ているとカフェなどの店が挙げられていたので僕の得意分野である林道や酷道、秘境スポットを取り入れようと考えた。

②現地調査

南越前町へ計20回以上の訪問を行い、事前調査をした観光地やガタガタの未舗装路、細い道の調査をした。

③情報発信

InstagramとGooglemapを利用して情報発信を行った。

手書きの地図と林道の難易度を示したパンフレットの作成もしていたが完成はしていない。

④南越前町クエストへの地図の提供

まちみらいチャレンジの参加者の清水さんとの合同企画に林道や見どころのあった地図を作成した。活動期間内に完成させることができなかった。

■町との関わり

町民の方から道についてや隠れた観光地についての話きいて、実際に行く活動をしていた。特に林道や細い道については南越前町町役場の農林水産課の方やイマジョートレイルの主催者の方から話を聞くことができた。

来訪場所や取材場所

アカタン砂防堰堤、日野山、武周ヶ池、高倉峠、山中トンネル、山中峠、風吹峠、203峠、大鶴目砂防堰堤、甲楽城川、二ッ谷集落跡、大河内集落跡、越前南武線、今城池田線、林道塚線

■情報発信・共有

①Instagramの開設と発信

今回の活動で訪れた場所をインスタに投稿した。投稿のする時隠れた南越前町の魅力を発信するために隠れ南越前町というタグで投稿した。数は少ないがいいねをいただくことができた。写真だけではなく道を走る動画も投稿した。動画の方が道の状態が分かりやすいと思った。

②Googlemapへの投稿

人が行き先を決めたり場所を探したりするときにGooglemapを利用すると考え、Googlemapへ写真を投稿したり場所を追加したりした。表示回数がどれも10から20程度であまりよくなかった。そもそも山中のよく知らない場所へ行こうと思わないであろう。

■成果（変化）

①自分自身の変化について

初めのころは道を紹介する事やガタガタな道に行きたいという考えが強かった。紹介するといっても、走っていて楽しいぐらいだと考えていた。しかし今庄トレイルの主催者の西村さんに話を伺った時に林道に対する熱い思いを聞き、活動を見つめなおすことができた。ただ道や場所を紹介するのではなく、その道にある歴史的背景やまちとの関わりを一緒に紹介できるようにしたいと考え方が変化した。より詳しく聞くためには町の方に話を聞く必要があるのでより南越前町と深くかかわることができた。

②今後の活動について

完成していない紙媒体のパンフレットを完成させる。雪が解けたら走れなかった道を走る。道の動画を作成しインスタかYouTubeに投稿する。

南越前町は海も山もあり自然がとても豊で活動していてとても楽しかった。機会があれば南越前町へ移住をして身近で豊かな自然と触れ合いたいと考えている。

■活動に関する写真等

現地調査 越前南部線行き止まり付近



大鶴目川砂防堰堤

大河内国有林道



情報発信
インスタグラム



Googlemap



大学生生活最後の半年間に南越前町でチャレンジしたこと

～卒業論文の調査×アルバイト×剣道～

菊川 翔太

■活動内容

私は今回、これまでの大学生活で培ってきたことを生かして南越前町を舞台にチャレンジしたいと思い参加しました。11月中旬から1か月河野に滞在し、主に以下の3つに取り組みました。

①1つ目に、**卒業論文のフィールド調査**を行いました。河野の特産品や歴史を生かしたお仕事をされている方13名(漁師の方、梅農家の方、水仙農家の方、旅館の女将さん、「右近家」案内ガイドの方)に、それぞれ1時間～3時間ほどお話をお伺いしました。また卒業論文の内容を簡単にまとめたパンフレットを作成しました。調査にご協力下さった方に今後お渡しする予定です。

②2つ目に、**河野の旅館の清海館さんで6回ほどアルバイト**をしました。お仕事内容は、カニ料理の配膳や布団の片付けなどでした。旅館のお仕事の大変さと楽しさを実感しました。体験した内容を形に残したいと思い、お仕事内容や感想などをまとめたパンフレットを作成しました。次回訪れた際にお渡しする予定です。

③3つ目に、**今庄中学校の剣道部の練習に5回参加**しました。中学生の皆さんと、基本打ちや技練習など剣道を通じて交流できました。また、自分ができることを他にもしたいと思い、2月22日に中学生の全校生徒に向けて発表会を行う予定です。

今回のまちみらいチャレンジでは、1つのテーマに絞らず自分ができること、特に大学生活4年間で培ってきたことを活かしてチャレンジすることができました。

■町との関わり

11月中旬から1か月間滞在することができたため、**以上の取り組み以外にも色んな方と交流することができました。**例えば、卒業論文の聞き取り調査以外に、社会福祉協議会の方やコミュニティバスの運転手の方、杜氏をされていた方などからお話をお伺いしました。また定置網漁や水仙畑に連れて行ってくれるなど、お仕事を肌で感じるすることができました。

■情報発信・共有

今回は町民の方や自分の身近な方に直接発信することを心掛けました。具体的には、卒論の成果をまとめたパンフレット、アルバイトの体験をまとめたパンフレット、中学校での発表という形を取りました。加えて、3月に開催される南越前町まちづくり大会でも今回の内容を発表する予定です。また自分の身近な方として、大学の友達4人に河野に来てもらい、カニ料理を楽しみながら南越前町での体験についてお話することができました。

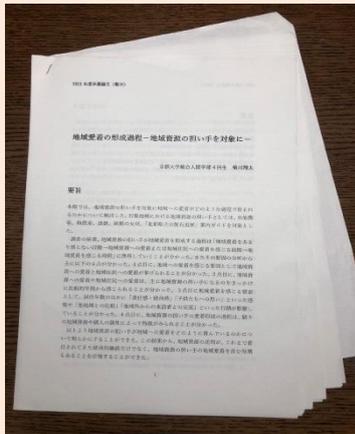
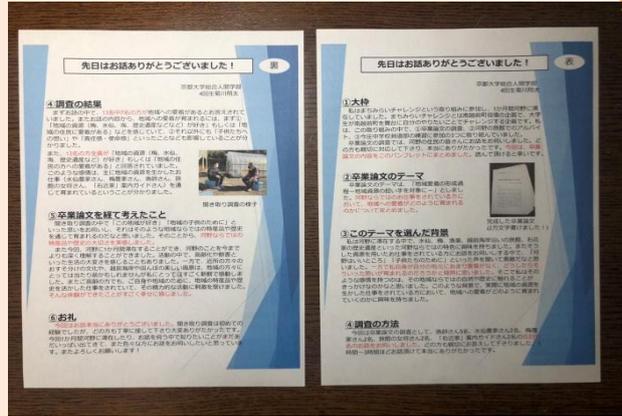
■成果(変化)

一番の成果は、1か月間の滞在を通じて、町民の皆さんと直接交流ができ、その内容を発信&発表できたことです。勉強や剣道やアルバイトなど自分がこれまで培ってきたことを活かして交流することができ、+αで発信や発表など自分なりに工夫してチャレンジすることができました。

また1か月間の滞在を通じて地域のことをより深く理解することができました。活動の中で、高齢化や獣害といった生活の大変さを感じることもありました。一方で、近所の方々のおすそ分けの文化や、越前海岸や田んぼの美しい風景は、地域の方々にとっては当たり前かもしれませんが私にとってはすごく新鮮で感動しました。またご高齢の方でも、ご自身や地域のために、地域の特産品や歴史を活かした仕事をされていて、その精力的な活動に刺激を受けました。そんな体験ができたことがすごく幸せに感じました。

私は来年から大学院に進学する予定です。**今回の滞在中にまだまだお話を聞いてみたいことや興味があることがいっぱいあって、今後も南越前町に滞在し色々学びたいです。**また今回の滞在中に学んだことを将来自分の研究の成果として社会に出せるように精一杯取り組みます。また**それ以外にも自分ができることを探して、これからも南越前町を舞台にチャレンジし続けたいです。**

■活動に関する写真等



①卒業論文のフィールド調査

- ・左上：聞き取り調査の様子
- ・右上：卒業論文の内容をまとめたパンフレット



②旅館でのアルバイト

- ・左：布団の準備の様子



③今庄中学校の剣道部の練習に参加



福井県南越前町協遊プラン

“爽秘悠笑”

佐川 弥鈴 藤田 真輝

河合 麻友子 梶原 理樹

■活動内容

「フィールドワーク」

①一回目の現地訪問

10月の半ばに2泊3日の日程で現地を訪問し、サイクリングコースの探索を行った。加えて、私たちのプランに協力してくださる方を探した。

探索地域：杣山、花はす公園、ORIONBAKE、ROSSO、山海里、今庄宿、アカタン砂防、

GENOME、sou's、河野

協力して下さった方：西川さん、宇野さん、貢さん、北村さん、観光協会

②二回目の訪問

12月半ばに3泊4日の日程で現地訪問を行った。実際に自転車で試走した。また、玉村屋の中谷さんとの話し合いの場を設け、プランへの協力を要請した。同コンテストへの参加者と話す機会もあり、それぞれ意見交換を行った。

探索地域：広野、南条、前回同様の地域

協力して下さった方：玉村屋中谷さん、朝倉さん、前回同様の方々

「ミーティング」

・企画内容の立案

前回のサイクリングツアーに加え、新たなコースと宿泊プランを追加した

・宿泊先である玉村屋中谷さんとの打ち合わせ

プランの運営方法や金額などの相談

■町との関わり

来町期間：10月20～22日/12月14～17日

来訪場所・取材場所：観光協会、玉村屋、sou's、Daisan、山海里、西川さん宅、GENOME、ROSSO、ORIONBAKE

地域で関わった方：西川さん、岸梅さん、中谷さん、貢さん、朝倉さん、宇野さん、北村さん、藤原さん、松田さん

■情報発信・共有

・リモート会議ツールやSNSを活用して中谷さんと連絡を取り、改善点の指摘を頂いた。

・メンターに対してLINEアプリを通じて情報共有を行った。

・現地で西川さんや宇野さん、貢さんなど協力してくださる方に情報共有を行いアドバイスを頂いた。

■成果（変化）

・活動の中で現地の人との交流が多くあった。その中で、現地の人と私たちの価値観の違いや現地の人々が求めていることは何かを多く学んだ。活動前はネット上の情報などから得られる情報を基にして課題分析、解決策を考えようとしていた。しかし、現地の人と直接関わり、情報を得ることの重要性を理解できた。

・活動前は知らなかった南越前町の魅力、店舗などを現地での活動を通じ知ることができた。

■成果（今後）

・現地でのフィールドワークの重要性を実感した。今後活動する際の指針にするとともに、後輩に引き継ぐ際に今回の学びを伝えることで、学びを活かしてほしいと考えている。

■町との関わり方（今後）

・町のニーズは何か、どのようなことを期待するかをヒアリングした上で新たなプランの創生、現状のプランの改善を重ね、より多くの人を南越前町に集客したい。

・弊ゼミの後輩を通じ、南越前町の活性化のための取り組みを行い、地域活性化の活動に貢献したい。

・今回提案するプランについて、課題点や改善を要する点をご指摘いただき、改善案を提案することでプランの実現化を目指したい。

■活動に関する写真等

フィールドワーク



プラン概要

ホットできる町
～思い出をフォトに残しませんか？～

福井県南越前町協遊プラン
“爽秘悠笑”



用意されたマップから行きたい場所を選び、サイクリング。その道中で写真を残しながら思い出作り。最後には、フォトアルバムとして思い出が形になります。また、現地をまるっと体験できるお宿にも泊まれて、現地で新鮮な野菜や有名なハスの花など農作物収穫や、和紙作り、つるし柿やそばなど特産物を作る体験作業も！

「爽やかな風に吹かれながらサイクリングを楽しみ、普段の生活では感じることのない神秘を感じ、悠久な自然を存分に味わい、人の温かみに触れ笑いあう」
そんな意味を込めて、このプランをあなたたちにお届けしたい。全力で味わって全力でくつろいでほしい、そう思っています。



#南越前#形に残る思い出作り
#サイクリング#ノープラン旅#非日常
#若者#南越前の人あったかいなあ

サイクリングマップ

